2015年度　前期　　　　リフレクションペーパー

学科名	建築・デザイン学科					
科目名	人間工学					
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年次または3年次前期	
必修・選択の別	選択必修科目（デザインコース） 選択科目（建築工学コース） 選択科目（建築コース）					
担当者	大箸純也					
授業の到達目標（シラバスから）	・ヒトの形態的特性の設計への適用のための基礎知識を習得する(D1) ・ヒトの行動や生活における負担を知るための基礎となる生体負担指標を知る(D1) ・姿勢における生体負担を知る(D1) ・設計における安全性の確保のための原則を知る(A5) ・様々な人を対象とするための基本的な考え方を知る(A5,D1)					
日程と内容	4月13日　予定、評価、注意点、広告における人間工学 4月20日　人間工学の歴史、必要とされる条件、椅座での腰部負担への腰椎形状の影響（三角クッションまで） 4月27日　いすについての腰椎の形状へ与える要因。姿勢変化の重要性 5月02日　いすの設計配慮項目。人間工学において必要な姿勢。ユーザーインターフェースでのメンタルモデル。 5月11日　ユーザ・インターフェース：メンタルモデル、その形成のための類似例の提示と構造・原理の提示、アフォーダンス、フィードバック、ポピュレーションステレオタイプ 5月18日　ユーザ・インターフェース：識別性、マッピング、フィッツの法則、レイアウト。生体計測：基礎、人種 5月25日　生体計測の値に影響する種々の要因、前半演習試験 6月01日　生体計測：パーセンタイル値 6月08日　生体計測：体型、関節可動域、動作空間、作業域 6月15日　生理的指標による身体負担の評価：酸素摂取量、心拍数、筋電図（静的筋作業を除く） 6月22日　生理的指標の適用例。姿勢：立位での循環器系、中腰での負担。ノーマライゼーション、障害者とは 6月29日　障害の分類・障害とは。障害対応のデザイン。その例。視覚障害への対応における点字 7月06日　スクリーンリーダ。JISで求める対応例。法での支援。安全：注意と安全。フールプルーフと					
成績評価基準	定期試験	65%	実技	0%		
	臨時試験	0%	部外評価	0%		
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%		
	課題	0%				
	演習	35%	計	100%		
授業到達目標の達成度	安全は駆け足になりましたが、何とか予定範囲を終えることができました。					
反省点	気持ちよく、落ち着いて授業ができました。ありがとうございました。					
来年度の計画	来年度が最後となります。内容についての変更は無いでしょう。					
授業評価アンケートに対するコメント	理解できなかったということが問題の根源のように考えます。全てを理解できなかったとなると問題ですが、各授業の内容は基本的に独立しています。部分的にでも理解できてもらえば、それでも良いと考えています。何らかの得るものがあったことを願っています。					
履修登録者数	52 名	定期試験受験者数	42 名	合格者数	37 名	合格率 88%